

令和元年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社ヤマムラ	代表者	竹谷 陽子	法人・事業所の特徴	<p>「すべてにありがとう。」を合言葉に、利用者様に寄り添い、落ち着いたきめ細かなサービスを提供しています。</p> <p>カンファレンス、ミーティングをこまめに行い、利用者様のケアを見直し、安心できる質の高い介護を行っています。</p> <p>本年度も、利用者様の「～したい」の実現に向けて、特に誕生月に実現させようとスタッフでチームを作り取組んだ。実現すると本人・スタッフ共に、やる気が出ることを学んだ。</p>
事業所名	小規模多機能ホーム おひさま	管理者	古閑輝見子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	4人	人	1人	1人	人	3人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>○事業所自己評価の取組みや、改善計画の取組みについて、前回同様運営推進会議の委員から高い評価を受けている。</p> <p>○このことを踏まえ、今回も事業所自己評価における次回までの具体的な計画の実行に真摯に取り組み、目標達成に努力したい。</p>	<p>○改善計画の実現に向かって努力された結果、ほとんどが改善されている。素晴らしいと思う。</p> <p>○火災、地震、水害等の災害を念頭に、「おひさま非常災害対策計画」が策定されておりそれに基づいた防災訓練等が行なわれている。</p>	<p>○改善計画はどのテーマにしてもよく考えられていると思います。いろいろと工夫を凝らされていると思う。期待しています。</p> <p>○スタッフや事業所の自己評価はわりに高いようです。それはスタッフの皆様が、ケアに対して真摯に取り組まれているからと思います。</p> <p>○事業所外との関りが低めは、繁忙による余裕のなさからかなと思います。</p> <p>○地域住民として、専門職の方と接する機会が増えるとよいと思います。</p>	<p>○事業所自己評価の取組みや、改善計画の取組みについて、前回同様運営推進会議の委員から高い評価を受けている。</p> <p>○このことを踏まえ、今回も事業所自己評価における次回までの具体的な改善計画の実行に真摯に取り組み、目標達成に良いケアのために努力したい。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<p>○事業所のしつらえや環境については、事業所維持に大事なことと認識し、今回も前回同様、高い評価の期待に反しないよう努力したい。</p>	<p>○事業所には、いつも花や絵画等が飾ってあり、居心地の良い空間となっている。</p> <p>○門や玄関には鍵はかかってなく、スタッフの皆さんの対応も良くできている。</p> <p>○いつも明るく暖かい感じで、掃除も行き届いている。</p> <p>○消毒薬の臭いもなく、常に清潔に</p>	<p>○事業所内の環境は申し分ないと思う。</p> <p>○「明るい声かけ。」「暖かい雰囲気。」「花いっぱい。」「利用者様の共同作品。」が印象的である。</p> <p>○これまで同様、いい環境にある「おひさま」の維持を望みます。</p>	<p>○事業所のしつらえや環境については、今回も運営推進会議委員の皆様の評価が高い、今後も前回同様、高い評価の期待に反しないよう努力していきたい。</p>

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>○向山コミセン・コスモスサロン・世安学園での地域行事に他事業所と共同で参加する。 ○今回も、「おひさま夏まつり」を開催するとともに、地域のイベントに利用者様とスタッフ一緒に参加する。 ○「おひさま」を知ってもらうため、ミニ広報紙を発行し、地域に配布する。 ○明るい事業所を保つためにはまず挨拶から。</p>	<p>は気を配っておられると思います、 ○いつもスタッフの皆様から明るく挨拶していただいている。 ○どの人に対しても、同じように接しておられるように思う。 ○困ったことがあったときには、いつでもすぐに相談に乗ってくれる。</p>	<p>○地域において、事業所の人と顔馴染みになれば何かの時に心強いと思う。 ○高齢者介護ということを知る機会ともなり、地域で高齢者を支える手助けになると思う。 ○おひさまも8周年になったことから、自信をもって、積極的に地域の方に認知されるよう努力してほしい。 ○「おひさまミニ広報紙」の発行はとても良いと思う。 ○向山サロン、コスモスサロン、世安学園での地域行事に他事業所とともに参加されている。 ○民生委員におひさまを知ってもらうために、校区民生委員会で、施設見学計画を予定している。</p>	<p>○引き続き、サロン活動に、他事業所とともに積極的に参加する。 ○コロナ禍で「おひさま夏まつり」は中止したが、次回はぜひ開催したい。 ○「おひさま」を知ってもらうために、「おひさまミニ広報紙」を発行し、地域に配布する。定期的に発行できるよう努力したい。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>○利用者の、地域のイベントへの参加、食事・買い物等の外出に積極的に取り組む。 ○事業者（スタッフ）が、利用者の「在宅地域」とのつなぎ役になることについては出来ていないので、積極的に取り組む。 ・ミニ広報紙による近況報告 ・社会資源の活用 ○利用者以外の、「近所の心配な方」の情報を、運営推進会議委員の方等から収集し事業所がかかわることに取り組みたい。</p>	<p>○利用者と地域との交流の実行例として、校区の夏まつりや、神社のまつりに、利用者も参加されている。 ○利用者の方も、防災訓練（地震）に参加されている。 ○利用者以外の地域の心配な方の窓口として、運営推進会議委員からの情報収集や相談の受付がとても心強い。</p>	<p>○利用者が、季節、気候に応じて、場所を選び、事業所の中にいるだけでなく、積極的に地域の行事に参加したり、食事、買い物等で外出することは刺激になっていいと思う。 ○地域行事は、休日開催が多いので利用者の参加が難しいのでは。 ○地域で暮らしたい高齢者にとって生活を支えてくれる人がいることは、ありがたいことだと思う。誰かの手を借りながら、なるべく自分の家で暮らしたいと思う。</p>	<p>○前回に続き、利用者の、地域のイベントへの参加、食事・買い物等の外出に積極的に取り組む。 ○「近所の心配な方」の情報を、運営推進会議委員の方等から収集し事業所がかかわることに取り組みたい。</p>

<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<p>○事業所の取り組みについては、ご理解いただき、概ね良い評価であることから、引き続き、取り組み方について説明に務める。 ○地域の心配な方等の情報収集に努め、運営推進会議で事例検討会を開き、おひさまのご利用につなげる。 ○今まで以上に、運営推進会議で出た意見を、運営に活かしていく。 ○委員さんの手助けを積極的に頂く</p>	<p>○運営推進会議で、事業所の取り組みがよく説明されている。 ○運営推進会議は、非常に参加の意義があり良いと思う。いろいろな意見を出し合い、事業所と地域との関わりを深めることができると思う。 ○事業所の説明はよくわかる。</p>	<p>○地域の方々から収集した情報を、細かなことでも、運営推進会議で話し合い。事業所の活動に活かせるように、運営推進会議、事業所ともに協力し合う。</p>	<p>前回同様に、 ○事業所の取り組みについては、ご理解いただき、おおむね良い評価であることから、引き続き、取り組み方について説明に努める。 ○地域の心配な方等の情報収集に努め、運営推進会議で事例検討会を開き、委員の皆様で話し合い、おひさまのご利用につなげる。 ○今まで以上に、運営推進会議で出た意見を、運営に活かしていく。 ○事業所の活動に、運営推進会議の委員さんの手助けを積極的に頂く。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>○地震、大雨、台風、火事の災害を念頭に、「おひさま非常災害対策計画」、「浸水想定地域避難計画」に基づく防災訓練等を行う。特に、夜間を想定した避難訓練と、地域と協力した防災訓練に取り組む。 ・地域の防災クラブや自治会と連携し協働での防災訓練を行う。 ○事業所の防災訓練、救命救急講習に、運営推進会委員の皆様参加をお願いします。</p>	<p>○火災、地震、水害等の災害を念頭に、「おひさま非常災害対策計画」が策定されており、それに基づいた防災訓練等が行なわれている。 ○事業所は、校区の防災訓練に、スタッフ・利用者ともに参加している。 ○事業所の防災訓練に参加したことがある。</p>	<p>○熊本地震、球磨川大水害と、毎年、日本各地で大規模な自然災害が発生し、事業所の防災・災害対策が一番重要と思われる。夜間発生災害時における人手の確保が心配である。 ○地域住民の協力が必要であり、防災計画を立てて、年に一度ぐらい訓練をすべきと思う。 ○事業所と地域の非常災害対策、訓練を具体的に計画し、実行することが、一番必要なことだと思う。 ○向山校区の消防団との連絡体制を密にして、緊急時に備えてほしい。また、防災について相談してほしい。</p>	<p>○既存の非常災害対策計画に洪水時の避難確保計画を追記して、「改定おひさま非常災害対策計画」を策定する。これによって年2回の防災訓練を実施する。 ○災害時の緊急対応のために、地域の消防団・自治会と綿密に連携し、協力体制を構築する。 ○おひさまの建物が平屋のため、洪水時の避難場所の確保が必要であり、近隣に避難場所を確保する。</p>